



2016年度秋期  
大阪サテライトキャンパス公開講座

## キリスト教講座 第1回 2016年11月19日(土)

講師：瀬本 正之（上智大学神学部教授・イエズス会司祭）

講座① 「回勅『ラウダート・シ』の大筋」

【時間】 13:00～14:30

講座② 「＜インテグラル・エコロジー＞と＜ケアの文化＞」【時間】 15:00～16:30

① 現教皇フランシスコが環境問題を主題とした社会回勅を公にされてから1年有余、邦訳が出て数ヶ月になります。翻訳作業に加わる機会をいただいた者としては、その〈大筋〉紹介も務めの一つ、と自覚しています。

アッシジの聖フランシスコの有名な祈りに因んで命名された『ラウダート・シ』の〈大筋〉を、聖人の祈りにこめられた気高い思いにふさわしく語り出せるよう試みます。

② 回勅『ラウダート・シ』は、すべての人を一己の人格として肯定し、その全面的開花・発展に寄与しようとする〈キリスト教ヒューマンイズム〉に立ち、環境問題にまつわる責任の全人的な理解と受諾を促し、そのために欠かせない文化刷新の方位を示します。回勅の二つのキーワードとも言える〈インテグラル・エコロジー〉と〈ケアの文化〉、その意味を探りつつ訳業への参加を通して触れさせていただいた教皇の思いの丈に迫ります。

## キリスト教講座 第2回 2016年12月17日(土)

講師：具 正謨（上智大学神学部教授・イエズス会司祭）

講座① ミサに見られるいけにえ性（聖書的根拠）

【時間】 13:00～14:30

講座② ミサにおけるいけにえ性（現代的な意味）

【時間】 15:00～16:30

① キリスト教はミサがいけにえであるという理解を非常に古い時期から持っていたが、その理解はたびたび誤解を招いていた。ルターをはじめとする宗教改革者たちがミサのいけにえ性を全面的に否定したのはその例の一つである。本講座ではなぜキリスト教がミサをいけにえとしてとらえるようになったのかについての聖書的背景を探る。

② ミサにおけるいけにえ性は第二バチカン公会議によって再確認されたが、公会議の文書の内容を読みながらその現代的な意味について考える。

会場：上智大学大阪サテライトキャンパス〈サクラファミリア（カトリック大阪梅田教会）2階〉

受講料：各回2,700円（両講座5,400円） 定員：各回80名

※事前のお申込みが必要です。申込方法、申込締切日は裏面をご確認ください。

### ●アクセス

- 上智大学大阪サテライトキャンパス
  - ・地下鉄御堂筋線「中津駅」3番出口より徒歩3分
  - ・阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分
  - ・JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分
- ※駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

### ●お問い合わせ先

上智大学大阪サテライトキャンパス事務センター  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3丁目12番8号  
サクラファミリア（カトリック大阪梅田教会）2階  
電話：06-6450-8741

開室時間：平日10:00～18:00

大阪サテライトWEBサイト  
<http://www.sophia-osaka.jp/>

